

✦ 医療法人 清仁会 水無瀬病院

- SAKURA -

— 広報誌 —

さくら

Contents

医師紹介

ドクターズコラム

当院の取り組み「外来」

病院だより

(訪問リハビリ)

編集後記

診療担当医表

私たちは、「安心」の二文字をモットーに、
地域社会の発展と皆様の健康を守るために
よりよい医療・福祉サービスを提供します。

医師紹介



訪問診療科
井戸本 陽子

はじめまして。平成28年4月から水無瀬病院に来ました井戸本陽子です。病院に勤めているといっても実は病院内にいることは少なく、病院の外を自転車で走り回っています。足腰が弱くて通院が難しい方や、年をとっても入院したり施設に入ったりせず住み慣れた家で過ごしたいと望まれる方のご自宅へ伺って、診察や傷の手当て、疼痛緩和をしております。

ベージュの帽子に水色のマスク、赤いリュックに白い自転車で走っているのを見かけられましたら、気軽にお声掛けいただけると嬉しいです。

病院の外へ出てみると、川沿いの桜や足元の野花、日ごとに変わる風の匂いなど、自然に触れることができ、毎日小さな幸せを感じています。本当に素敵な町です。

これからは地元の皆さまが、この地域の素敵な環境の中で、穏やかに幸せに過ごされるよう、お手伝いしてまいります。

訪問診療は、住み慣れたご自宅で治療や療養を続けることができます。

24時間・365日 医師や看護がサポートをさせていただきます。

病院への通院が体調面や介護のことや移動手段で難しくなってきたお困りの方はご相談下さい。

問い合わせ先) 075 (963) 4460 水無瀬病院 地域連携室

ドクターズコラム



内科・消化器内科
加納 義浩

H27年9月より、水無瀬病院内科で勤務させていただいております加納義浩です。主に消化器内視鏡を中心に内科全般の診療をしております。

野球観戦が趣味なのですが、今年度の阪神タイガースは、金本新監督のもと“超変革”のスローガンを掲げ、若手の起用に期待が持てる一年になりそうです。昨年の甲子園で観戦した際は大きく負け越してでした。今年の初観戦は、残念ながら敗戦でしたが、何とか六甲おろしが歌えるよう、おいしいビールが飲めるように、若トラたちに頑張ってもらいたいものです。

私も初心を忘れず、地域の皆様に安心した医療が提供できるように頑張っております。胃の不調や便秘のことで心配事がある方は、お気軽に相談してください。皆様、どうぞよろしく願いいたします。どうぞお気軽にお声掛けください。

当院の取り組み

外来看護のお仕事について

「外来の看護師さん」といえば、皆さんはどのような印象をお持ちでしょうか？

いつでもにっこり優しい印象を持っていただけているならうれしいのですが・・・。

今回は、当院外来での看護師の役割について各部門に分けてご紹介します。



インフォメーション

昨年より待合室中央にインフォメーションを設置しており看護師と外来クラークが初診患者様の問診や検査、診察室へのご案内・ご予約・説明を行っております。設置したことで待合患者様と直接顔を合わす機会が増え、待合での様子がよくわかるようになりました。何かご質問等やご要望などがございましたらお気軽にお声掛けください。

診察部門

各診察室では処置や診察・検査のご案内など医師の介助はもちろん、薬剤科・検査科・地域連携室などの他部門との連携を取りながら通院が可能な患者様にはご自宅や施設等で安心して過ごせるように対応し、入院が必要と思われる場合は速やかに必要な治療が受けられるよう段取りをしております。

検査部門

当院では、採血・胃カメラ検査の介助を外来看護師が行っています。検査になると不安を強く持たれる方もいらっしゃるかと思います。私たちはできるだけその不安を取り除いて安心して検査を受けていただけるように、「わかりやすい説明」「声掛け」を第一に考え、安全に検査を受けてもらえるように援助をしております。

救急部門

救急車で運ばれてくる患者様の訴えや症状は様々です。中には重篤な症状の方もおられます。私たちは医師と協力して迅速に対応し、患者様・ご家族にとって最善の治療をさせていただいています。

このように「外来」各部門での役割は異なりますが、どの部門においても共通して「患者様のため」を念頭に日々、業務にあたっています。急変された患者様の対応などでそうも言ってもらえない場面もあるのですが、「いつも笑顔で対応」を心掛け私達はいつでも患者様・ご家族様にとって一番近い相談相手でありたいと思っております。どうぞお気軽にお声掛けください。

訪問リハビリについて

—退院後の「安心」のための訪問リハビリテーションについて—

入院中にリハビリテーションを経てご自宅へ退院された患者様に、必要に応じて訪問リハビリテーションを実施しています。この訪問リハビリテーションの目的を大きく3つご紹介します。

1.退院後の安心のために

退院直後は病院からご自宅への環境の変化によって患者様の不安が強くなりがちです。訪問リハビリテーションでは入院中にできるようになったトイレや入浴などの日常生活動作がご自宅の環境で実際に実施できているかを確認します。できていることは継続できるように、やりにくいところが新たに見つかった場合はやりやすい方法を練習して安心して生活できるようにします。

2.役割の再獲得のために

病気で体が不自由になると今までしていた洗濯、掃除や買い物などの家事を家族やヘルパーさんにしてもらうことになる場合があります。家事の役割を失うことは体を動かす機会を減らすだけでなく意欲の低下につながります。訪問リハビリテーションでは道具や手順の工夫と練習を行って自分でできるようになることを目指します。

3.生きがいや社会参加のために

自治会活動、畑仕事などの趣味活動、屋内外での社会参加が再びできるように訪問リハビリテーションを実施します。入院前は何気なくしていた日常を取り戻す支援をいたします。

退院後訪問リハビリテーションの対象となる患者様は介護認定を受けている、当院から半径2キロメートルにお住いがあるなどです。詳しくは主治医、地域連携室、リハビリスタッフにご相談ください。

役わり

安心

生きがい

リハビリテーション科 倉橋 利成

編集後記

初夏の風を思わせる陽気が続いているとあらためて感じる今日この頃です。一年のうちで過ごしやすい時期のひとつではないでしょうか。今年のゴールデンウィークは皆さんどのように過ごされましたか？

人が多いのが苦手な私は自宅で過ごすことが多かったのですが、島本町内を散策して廻りました。町内に住んでいても意外と知らない場所もあります。通ったことのない細道に入れば昔ながらの光景に出会い、驚きと小さな感動がありました。ただ普段歩かないので翌日筋肉痛で動けなかったのはここだけの話です…今度はとなり町にも挑戦です！

【広報委員会 田中】



発行元
医療法人 清仁会 水無瀬病院
広報委員会
TEL:075(962)5151
<http://minasehp.jp/>